

まだ十分に活用されていない状況です。最近二年間は主に生存率に関する検討（病院の種別・規模別の検討、生存率計測の精度に関する検討）を行いました。過去には、がん登録との記録照合により、肝疾患検診で発見されたC型肝炎ウイルス感染者の追跡、県が行った生活習慣調査集団の追跡などを行い、論文になった例があります。行政的に得られる有益なデータは多々ありますが、個人情報保護の流れの中で如何に有効に活用していくかが私の課題の一つです。人口88万人という小さな県で、住民の移動も少なく、何か良い仕事ができないか、と思いを巡らすこの頃です。

第11回総会研究会を終えて

岸本 拓治

鳥取大学医学部 社会医学講座 環境予防医学分野

地域がん登録全国協議会第11回総会研究会は、2002年9月13日に鳥取県米子市「米子コンベンションセンター」において開催され、12日の実務者研修会と併せて、予想以上に多くの参加者があり盛会のうちに終える事ができました。皆様方のご支援、ご援助に対し厚く御礼申し上げます。

本総会研究会では、「保健予防活動と地域がん登録」を主題として開催いたしました。ここ数年の間、個人情報保護の観点から、地域がん登録に関しては大変厳しい状況が続きましたが、現在継続討議になっております「個人情報保護法案」、あるいは「疫学研究における倫理指針」、「健康増進法」などにより、地域がん登録制度の重要性が認識されてきていると思われまます。しかし、法的裏づけや精度向上に関する事、還元方法・活用方法などにつきましてまだまだ多くの課題があり、そのような中で地域がん登録ががん予防に関して非常に重要かつ有効なものであることを改めて問い直し確認するということが、本主題を選んだ理由です。

教育講演では、「最近の大腸がん増加とその背景」という演題で富永祐民先生に講演を頂きました。先生ご自身の健康生活実践例も含めて、大腸がん増加の背景因子に関して報告していただきました。もう一つの教育講演として波平恵美子先生に「癌告知：死と医療の文化人類学」に関して講演していただき、この問題については専門職だけでなく、全ての患者と患者予備軍である一般の人々によって活発に論じられる必要性が強調されました。また、特別講演では「現場で役立つ禁煙指導」について中村正和先生に報告していただき、健診や外来診療の場で

の禁煙指導に関する行動科学的介入について解説していただきました。

シンポジウム「保健予防活動と地域がん登録」では、がんの1次予防に関して「がん登録データが示すがん1次予防の課題」（大島 明先生）、ハイリスク者に対する化学予防に関連した「HCV 検診とIFN 治療」（周防武昭先生）、また、2次予防に関して「わが国のがん検診の現状と問題点」（祖父江友孝先生）と「肺がん検診と治療への展望」（清水英治先生）について、そして、3次予防に関連して「がん登録と生存率—がん医療の進歩と生存率向上—」（津熊秀明先生）について発表されました。さらに、「地域がん登録はがん予防につながるか」（岡本直幸先生）という観点から報告されました。1次予防から3次予防にわたり総合的な討議が行われ、地域がん登録の成果と課題について明らかにされました。

実務者研修会を含めた今回の総会研究会が、今後の実りある地域がん登録の活動に役立つことを祈念して、総会研究会のご報告とさせていただきます。

第12回総会研究会のご案内

藤田 学

福井社会保険病院

地域がん登録全国協議会の第12回総会研究会ならびに実務者研修会を下記のとおり開催させていただきます。

日時) 平成15年9月12日 総会研究会

平成15年9月11日 実務者研修会

場所) 福井県国際交流会館 福井市宝永3-1-1

現在プログラムなど具体的なことはまだ決まっていませんが、内容といたしましては次のようなことを考えております。

- 1) 実務者研修会；各医療機関における病歴室や院内がん登録の整備と地域がん登録の関係
- 2) 総会研究会；地域がん登録の利用について
 - ① 臨床、疫学研究からみたがん登録の利用
 - ② 保健予防活動におけるがん登録の利用

福井県のがん登録の特色としては、臨床医が日常行っているがん医療の効果をみたいという目的のもとに始まったということです。最初は胃がんの罹患状況を把握したいとのことで1984年に県医師会の主導で悪性新生物実態調査が実施され、翌1985年から福井県がん登録事業に発展しました。したがって現在でも福井県のがん登録事業は県医師会を中心とした臨床医が中心となって運営されています。福井県のがん診療のレベルを上げるため

には正確ながん情報の収集が必要という、各臨床医の努力によって高い登録精度を維持できていると考えられます。反面疫学を専門とする人の参加が少ないために、せっかくの精度高いがん登録情報ががん予防活動に完全に生かされていないのも事実であります。この総会研究会を機会に、がん登録を通じてがん医療に携わる臨床、疫学、行政の連携のあり方を考えてみていきたいと考えています。

永平寺、東尋坊、原子力発電所ぐらいしか印象のうすい福井県ですが、この機会にぜひ皆様お誘い合わせのうえ多数ご参加下さいませようお願い申し上げます

連絡先) 911-8558 福井県勝山市長山町 2-6-21

福井社会保険病院(業務課) 山内裕子
TEL 0779-88-8166 FAX 0779-88-8167

対がん協会賞を頂いて

松田 徹

山形県立成人病センター

今回、私は対がん協会賞を頂戴しました。受賞理由は集団検診とがん登録への貢献とされていますが、驚かれた方も多いようです。と申しますのは、両分野とも私には全国的な実績が殆どないからです。確かに、山形県はがん死亡が多く、検診も熱心です。山形ならではの特徴もありますが、私は地域の実務家にすぎず、全国的に知られているわけではありません。消化器系を専門にする臨床医で、忙しいだけが取柄ですので、検診やがん登録に使える時間は、ほぼ夜と休日だけです。いくら貧乏県とはいえ、こういう運用は配慮が少なすぎると言い続けてきました。嬉しいことに、来年度からは行政組織の一部改革の動きもあります。がん登録に関しては、ひよんなことから、前任の佐藤幸雄先生の後釜として担当することになりましたが、先生には引き続き実務をやっていたいてきました。登録精度を落とさないことが最大の関心事で、私個人は、地域がん登録への貢献も殆ど無く、

院内がん登録もメンバーには加えていただいているものの、実績はないのが実情です。日本対がん協会は、がんによる死亡を少なくする「がん征圧運動」の推進母体として創立されました。その意味からは、重要な活動を担っている、がん登録の分野の方々の方がもっと評価されて良いはずですが、若年の私が伝統ある同賞を頂き、恐縮の極みですが、先鞭をつけられて良かったと考えています。

がん登録のためさらに一層のご活躍を

- 平成 14 年度実務担当功労者表彰の報告 -

本協議会では、平成 13 年度から、地域がん登録の実務担当功労者表彰制度を創設し、各都道府県市の地域がん登録事業で、多年にわたり、事業の推進に篤志的に努力された実務担当の方を、協議会が表彰し、感謝状をお贈りすることになりました。

平成 14 年 9 月に鳥取で開催された第 11 回総会で、第 2 回表彰式が行われました。次の各府県市の 7 人の方々に対し、大島理事長から、感謝状と記念品が贈呈されました。受賞者の皆様の今後のご活躍を期待します。

(敬称略)

茨城	西連地 利己	大阪	松尾 育子
大阪	坂本 美香	鳥取	岩垣 陽子
鳥取	小林 まゆみ	広島市	堂道 直美
長崎	山田 豊信		

編集後記

◆12 号をお届けいたします。今回も硬い話題となり、ご容赦下さい。ただ、地域がん登録にささやかな追い風が吹き始めたようで、これが大きなうねりとなって行くことが期待されます。その為には、地域がん登録の意義と有益性を多くの方に理解していただく活動が求められています。頑張りましょう。(岡本)
◆これまで道府県単位で実施されてきた地域がん登録事業に、国が積極的に関与する姿勢を示したことは、全国のがん登録関係者にとって朗報でありましょう。院内がん登録システムの普及もがん登録実務者の負担を軽減することは疑いなく、研究のさらなる発展が期待されます。(小山)

(編集: 岡本直幸、小山幸次郎)

2003 年 関連学会一覧

1 月 24-25 日	日本疫学会 (第 13 回)	福岡市 明治生命ホール
1 月 27-31 日	実務者研修「地域がん登録課程」	国立がんセンター
6 月 10-12 日	NAACCR Annual Meeting	Hawaii, US
6 月 16-18 日	国際がん登録学会 (IACR) (第 25 回)	Hawaii, US
7 月 23-25 日	日本がん疫学研究会 (第 26 回)・日本がん予防研究会 (第 10 回)	札幌市 北大学術交流会館
9 月 11-12 日	地域がん登録全国協議会総会研究会 (第 12 回)	福井市 福井県国際交流会館
9 月 25-27 日	日本癌学会 (第 62 回)	名古屋市 名古屋国際会議場
10 月 22-24 日	日本公衆衛生学会 (第 62 回)	京都市 京都国際会議場

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター内
TEL: 06-6972-1181 (2314), 06-6977-2030 (直) FAX: 06-6977-2030 (直), 06-6978-2821